

メガネフレーム取扱説明書

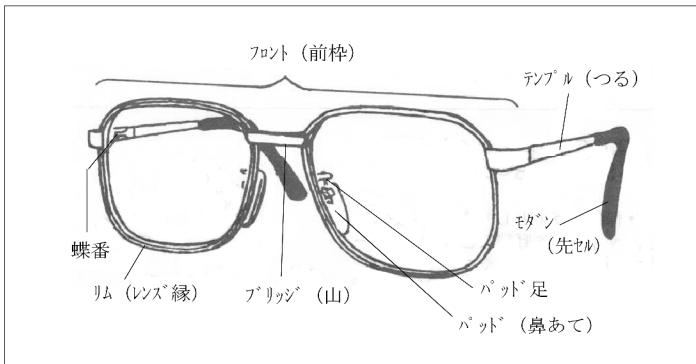
安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書およびレンズ取扱説明書をよくお読みください。

1. ----- メガネフレームの名称と種類について
2. ----- メガネを安全にお使いいただくために
3. ----- メガネのご使用上の注意
4. ----- メガネのお手入れ方法
5. ----- メガネの正しい保管について
6. ----- 定期点検のおすすめ

安全にご使用いただくための表示とその意味

	警告	誤った取扱をした時に重傷、失明など重大な結果になる可能性があることを示しています。
	注意	誤った取扱をした時に障害を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを示しています。
		一般的な注意が必要なことを示しています。
		特定の行為の禁止を表します。
		特定の行為の義務づけを表します。

1. フレームの名称と種類



1-1 プラスチックフレーム

- フロントの主要部分がプラスチックで作ったフレーム。



- ・プラスチックは熱により変形したり燃え出します。おそれがあります

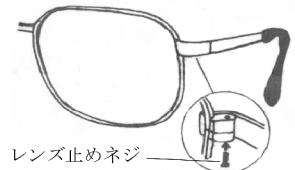


1-2 メタルフレーム

- フロントの主要部分が金属で作ってあるフレーム。



- ・レンズ止めネジが緩むとレンズがはずれます。緩みに注意してください。



2. メガネを安全にお使いいただくために

△ 警告

2-1 衝撃によるメガネの破損にご注意



- ガラスレンズはもちろん、プラスチックレンズやメガネフレームも強い衝撃を受けると割れます。破片が眼にはいると危険です。ケガや失明の原因となりますので激しいスポーツ等の際はゴーグルなどの保護具を併用してください。



2-2 高温や急激な温度差などにご注意



- 高温(60°C以上)にさらされたり、急激な温度差に合うとフレームが変形したり、レンズにひび割れの生じる原因となります。またフレームが変形するとレンズが脱落する可能性があります。プラスチックには170°C位で燃え出します。火のそばに置かないでください。



- 暖房器具の近くや、陽の当たる自動車のダッシュボードの上、炎天下の砂浜など、メガネを高温の場所に放置しないでください。



- メガネを熱湯で洗ったり、ヘアードライヤーなどの熱風に当てないでください。

また、サウナなどでは使用しないでください。

△ 注意

2-3 アレルギー体質の方へ

- フレームが肌に触れる箇所にかゆみ・かぶれ・湿疹など異常がある時、又は異常が現れたときは止め皮膚科の医師の診察を受けてください。治療と共に、体質に合った部品又はフレームと交換することが必要です。



△ 注意

2-4 変形・改造の禁止

- 故意に変形・改造したりキズをつけないでください。素材の劣化により折れなどの原因となります。



△ 注意

- 凸レンズ使用のメガネの場合、そのまま太陽光の当たる場所に置きますと、レンズの集光作用により、周囲を焦がす恐れがあります。太陽光の当たるところには置かないでください。



3. メガネのご使用上の注意

⚠ 警告

3-1 太陽は直視しないでください

レンズカラーの濃淡にかかわらず太陽や強い光を直視しないでください。眼を傷めるおそれがあります。



⚠ 警告

3-2 濃い色のカラーレンズは運転にご注意を

暗い所（夜間、夕暮れ時、曇りの日、トンネル内等）でのカラーレンズ（濃度およそ25%以上（視感透過率75%以下））や紫外線を受けると色の変化する調光レンズの使用は避けてください。光量不足で視界が低下し危険です。



⚠ 注意

3-3 運転や操縦はメガネに慣れてから

見え方や使い方に慣れない場合は距離感が異なることがあります。運転や操縦などには違和感を感じなくなつてからご使用ください。



4. メガネのお手入れ方法

4-1 汚れた場合

整髪料、化粧品、汗、果汁、油、薬剤（シンナー、トイレ・浴室洗剤）等がメガネについた時には劣化・変質・変色の原因となる可能性があります。汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めた液で軽く洗い、水でよくすすぎ、すみやかにふき取ってください。

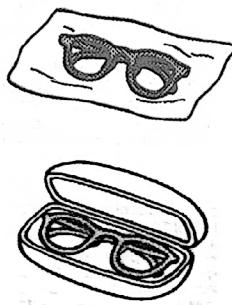
※ アルカリ系の洗剤（石鹼、ハンドソープ、ボディソープなど）は使用しないでください。コート膜が劣化し剥がれる原因となります。



5. メガネの正しい保管について

5-1 メガネを置くとき

メガネを置くときは、レンズノ凸面を上向きにしてください。下向きにしますとキズの原因となります。



5-2 持ち運びには

持ち運びのときや、ご使用にならないときは、お手入れした上でハードケースに入れて保管してください。防虫剤、トイレ・浴用洗剤、化粧品、整髪料、薬品などの入った場所に長い間保管しておくとレンズ・フレームともに劣化・変質・変色の原因となります。

⚠ 注意

3-4 メガネのずり落ちにご注意

フレームが曲がっていたり、ずり落ちたまま使用していますと、レンズが正しく使えず見づらくなります。購入店で調整をしてください。



3-5 メガネの掛けはずしは・・・

必ず両手でテンプル（つる）を持って顔にそわせながら行ってください。片手だけで掛けはずしをしていると変形や破損の原因となります。



⚠ 注意

3-6 遠近両用メガネでのご注意

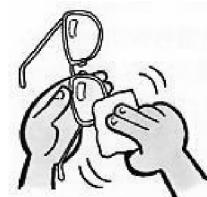
遠近両用メガネを使用して、階段など段差のあるところを降りるときは、足元がぼやけます。あごをしっかりと引いてレンズ上部の運用部で、足元を確認しながら降りてください。



※ なお、車の運転では、バック（後進）の時にはあごを引いて遠方が明視できる部分で見るよう特に注意してください。

4-2 レンズを拭くときは・・・

レンズを拭く時は、拭く方のレンズの外側を持ってそっと拭いてください。ごみや砂、ホコリなどが付着している時は、まず水洗いしてから、ティッシュペーパーや柔らかい布で拭いてください。無理に力を入れて拭くとキズや破損の原因となります。特に縁なしや構造りフレームは丁寧に取り扱ってください。



6. 定期点検のおすすめ

点検

メガネはフレーム、レンズとも経年変化により素材が消耗や劣化します。また度数が合わなくなる場合もあります。

メガネを快適かつ安全にご使用していただくために、1年に一度は必ず、「視力測定」・「フィッティング調整」・「消耗品の点検や交換」・「レンズとフレームの劣化」等について、ご購入店で定期点検を受けてください。

